

2024/7/2 版

場作りのフィールドワーク

多摩美術大学 美術学部 情報デザイン学科 情報デザインコース

山口 紡

目的を一言で表すと

「人の集まる場作りをしたい」

詳細な目的①

居酒屋のように、人が集まると楽しさが生まれるのはどうしてだろうか？

その楽しさを作り出してみたい

背景：

居酒屋で隣の人と仲良くなったり、ワークショップに参加してすぐに打ち解けるなど、実体験から二人以上の人が集まると楽しさが生まれると思っている。

一方で、プログラミングキャンプのメンターとして活動する中で、楽しさを作り出すことの難しさも感じた。

楽しい場が好きだからこそ、どうすれば楽しい場を作ることができるかを実践しながら調べたい。

詳細な目的②

カフェのような、背景がバラバラな人々が集まる場所を作って、記録集にまとめたい。

背景：

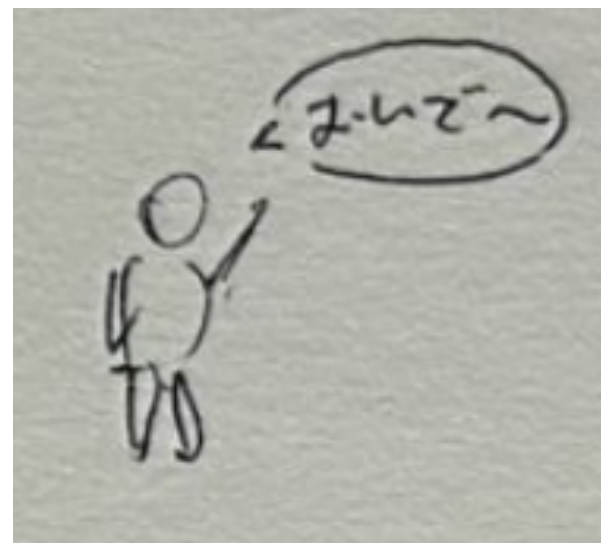
もし私が作った場によって、本来出会わなかったはずの人が出会ってコラボレーションなど面白いことが起きたら嬉しいという想いを持っている。

卒業制作ではそのための第一歩として、多様な人々が集まる場をつくりたい。

そして、その場限りの景色や、それを作り出した過程を記録しておきたい。

場作りの大まかなイメージ

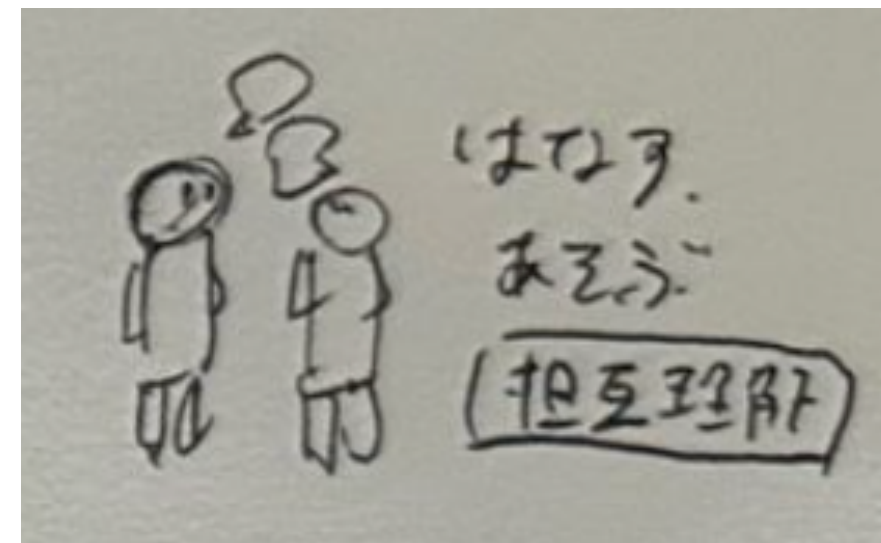
① 人を集める



誰でもできる

→

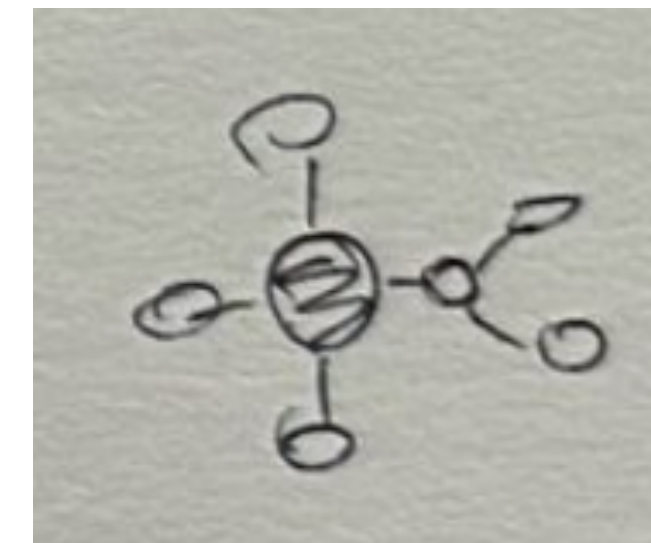
② 関係性を築く



個性が出やすい

→

③ コミュニティを作る



期間内では難しい

注目したい

役割としてはファシリテーターに近い

大切にしたいこと

1. 相手と関係性を築くことを大切にする。
2. 自分のための記録集だが、場を作りたい人に役立つものにする。
3. 科学的な研究プロセスを意識しすぎない。ゴールも決めずにクイックに実践し、実際の結果に着目し続ける。ずれをおもしろがる。
4. 活動を発信することで発生するつながりにも着目する。

記録の仕方

1. 記録集 (Webサイト) で取り組みを記録する

内容

- A. どのような取り組みをしたか
- B. どのような場が生まれたのか
- C. そこから私は何を感じたのか
- D. 次に何をしようと思ったのか

2. 映像や音声を記録しておく

3. 制作ノートで卒制全体としてのプロセスを記録する